

VTX DCダイナミックバランスファンド (安定成長型)

運用報告書(全体版)

第2期(決算日 2025年2月25日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「VTX DCダイナミックバランスファンド(安定成長型)」は、このたび第2期の決算を行いました。 当ファンドは、VTX ダイナミックバランス(安定成長型)マザーファンドへの投資を通じて主として日本株式、 先進国株式、新興国株式、日本国債、先進国債券、新興国債券、国内REIT、先進国REITに投資し、リスクをコント ロールしながら信託財産の成長を図ることを目的としております。

当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行いました。ここに運用経過等についてご報告申し上げます。 今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合						
信託期間	2023年3月1日から原則として無期限です。						
運用方針	VTX ダイナミックバランス(安定成長型)マザーファンド(以下、「マザーファンド」ということがあります。) への投資を通じて主として日本株式、先進国株式、新興国株式、日本国債、先進国債券、新興国債券、国内REIT、先 進国REITに投資し、リスクをコントロールしながら信託財産の成長を図ることを目的としております。						
	当 フ ァ ン ド VTX ダイナミックバランス(安定成長型)マザーファンド						
主要投資対象 マザーファンド 日本を含む世界の株価指数先物取引に係る権利、日本を含む世界の国債先物取引 利、上場投資信託およびわが国の公社債							
40 3 <u>4</u> 11 779	●株式への実質投資割合には制限を設けません。 当ファンド ●外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。 ●デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。						
組入制限 ●株式への投資割合には制限を設けません。 ●外貨建資産への投資割合に制限を設けません。 ●外貨建資産への投資割合に制限を設けません。 ●デリパティブの使用はヘッジ目的に限定しません。							
分 配 方 針	毎決算時(年1回、原則毎年2月25日。休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 分配対象額は、経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではあ りません。						

バーテックス・インベストメント・ ソリューションズ株式会社

東京都千代田区有楽町一丁目13番1号 https://www.ytx-is.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

フリーダイヤル:0120-43-7472

(受付時間:営業日の午前9時~午後5時 土・日・祝日・年末年始を除く)

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と は一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

〇設定以来の運用実績

	fat.			基	準		価			額	株	式	債	券	債		券		資	言託	純	資	産
決	算	期	1	(分配落)	税分	込配		期騰	落	中率	先 物				先生	勿 比		証組	入.	券 比 率	総		額
(設	定日)			円			円			%		%		%			%			%		百フ	万円
2	2023年3	月1日		10,000			_			_		_		_			_			_		2,	500
1期	(2024年	2月26日)		10, 362			0			3.6		20. 3		33. 4		2	5.8			17. 9		2,	843
2期	1(2025年	2月25日)		10, 396			0			0.3		13. 3		32. 1		6	0.1			22.8		6,	374

- (注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
- (注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 株式先物比率は買建比率-売建比率。
- (注) 債券先物比率は買建比率-売建比率。
- (注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

〇当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	目	基	準	価		額	株			式	債			券率	債		券 比 率	投証組	資	信	託光
+	Я	П			騰	落	率	先	物	比	率	組	入	比	率	先	物	比 率	組組	入	比	券率
	(期 首)			円			%				%				%			%				%
20	24年2月26	6日		10, 362			_			2	0.3			3	3.4			25.8			17	7.9
	2月末			10, 350			△0.1			2	1.2			3	3.4			28.8			21	. 1
	3月末			10, 483			1.2			2	0.7			3	2.6			30.3			19	9.8
	4月末			10, 422			0.6			1	7. 7			3	5. 5			32.3			22	2.8
	5月末			10, 414			0.5			1	8. 7			3	4.8			36.7			24	1.0
	6月末			10, 557			1.9			2	0.8			3	3. 7			36.7			24	1.3
	7月末			10, 512			1.4			1	1. 1			3	3. 1			41.9			13	3.8
	8月末			10, 549			1.8			1	5. 7			3	2. 1			63.0			15	5.9
	9月末			10,600			2.3			1	5. 6			3	5. 5			69.2			17	7.4
	10月末			10, 580			2.1			1	6. 7			3	4. 4			57. 5			19	9.2
	11月末			10, 526			1.6			1	7. 2			2	9.0			57. 1			18	3.9
	12月末			10, 508			1.4			3	0.5			3	6.4			103.6			33	3.4
20	025年1月月	末		10, 481			1.1			1	3.6			3	6.0			59.8			23	3. 1
	(期 末)																					
20:	25年2月25	5日		10, 396			0.3			1	3. 3			3	2. 1			60.1			22	2.8

- (注)騰落率は期首比です。
- (注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 株式先物比率は買建比率-売建比率。
- (注)債券先物比率は買建比率-売建比率。

(2024年2月27日~2025年2月25日)

期中の基準価額等の推移



期 首:10,362円

期 末:10.396円(既払分配金(税込み):0円)

騰落率: 0.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、当ファンドの決算時に分配金があった場合に、分配金(税引前)を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注)分配金を再投資するかどうかについては受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税 条件も異なります。したがって、受益者のみなさまの損益の状況を示すものではありません。
- (注)分配金再投資基準価額は、期首(2024年2月26日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

〇基準価額の主な変動要因

主として日本国債や先進国国債がマイナスに寄与した一方、先進国株式や米国物価連動国債がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

投資環境

【株式市場】

世界の株式市場は日本、先進国、新興国いずれも上昇しました。

2024年8月上旬には米国の景気後退懸念等を受けて大きく下落したほか、その他にも米国のインフレや政策金利が高止まりするとの懸念、地政学リスクの高まり等から下落する局面もありましたが、期を通じてみれば良好な企業業績等を背景に上昇しました。特に先進国株式はマグニフィセント・セブンと呼ばれる米国の大型テクノロジー企業7社が牽引する形で大きく上昇しました。また、8月上旬の世界的な株式下落時において、日本株式は8月5日に12%以上の歴史的な急落となりましたが、翌日には急反発し、その後も値動きの大きい展開が続きました。

【債券市場】

世界の国債市場は日本、先進国ともに下落しました。

日本では2024年8月上旬の日本株式の歴史的な急落時にリスク回避の動き等から金利が大きく低下(価格は上昇)する局面もありましたが、期中の多くは日銀によるマイナス金利解除を含む3度の利上げや国債買入の減額等を背景に金利は上昇(価格は下落)基調で推移しました。また、先進国では2024年6月から9月にかけて経済やインフレに関連したデータの減速を受けて主要国で利下げが開始されたほか、特に8月上旬や9月上旬には米国の景気後退懸念も高まったことから金利が大きく低下する局面もありましたが、期を通じてみれば堅調さを維持する米国経済に加え、11月に米国大統領選挙に勝利したトランプ氏が掲げる経済・関税政策によりインフレや政策金利が高止まりするとの懸念等を背景に金利は上昇しました。

米国の物価連動国債市場、米国の投資適格社債市場、新興国の米ドル建て債券市場(いずれも米ドルベース) は上昇しました。

米国金利の上昇がマイナスに寄与した一方、高水準の米国金利を背景としたインカム収益がプラスに寄与したほか、期待インフレ率の上昇やクレジットスプレッドの縮小もプラスに寄与し、3 資産いずれも上昇しました。

【REIT市場】

国内のREIT市場は上昇しました。

日本金利の上昇や日銀の金融政策修正に対する警戒感等を背景に上値が重い展開が続きましたが、2024年 12月中旬の日銀金融政策決定会合以降は過度な利上げに対する警戒感が後退し業績対比での割安感が意識されたほか、海外投資ファンドによる公開買い付け実施が公表された銘柄の存在も好感され、期を通じても上昇しました。

米国のREIT市場(米ドルベース)は上昇しました。

2024年6月から9月にかけて米国金利が大きく低下した局面では大きく上昇した一方、その後の米国金利が上昇に転じた局面では上値が重い展開が続き、特に12月には大きく下落しましたが、期を通じてみれば堅調さを維持する米国経済等を背景に上昇しました。

【米ドル・円為替市場】

米ドル・円為替市場は小幅に米ドル安・円高となりました。

当期初から2024年7月中旬にかけて大きく米ドル高・円安となった後、9月中旬にかけて大きく米ドル安・ 円高が進行し、当期末にかけて再度大きく米ドル高・円安が進む値動きの大きい展開となりました。期中の動 きは概ね日米金利差の変化に連動していましたが、米国トランプ大統領が掲げる経済・関税政策、NISAを通じた海外資産への投資やデジタル関連サービスに対する海外への支払いなどの円売り圧力の拡大等が意識され、期を通じてみれば日米金利差が縮小する中でも小幅な米ドル安・円高にとどまりました。

当ファンドのポートフォリオ

【当ファンド (ベビーファンド)】

VTX ダイナミックバランス(安定成長型)マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。

【VTX ダイナミックバランス(安定成長型)マザーファンド】

主として日本株式、先進国株式、新興国株式、日本国債、先進国債券、新興国債券、国内REIT、先進国REIT を実質的な投資対象とする国際分散投資を行いました。各資産のリスク寄与度が等しいリスクパリティポートフォリオから期待リターンを推定し、目標リスク水準における期待リターンが最大となるように構築したベースラインポートフォリオを起点に、独自の定量モデルを活用して追加的な収益の獲得をめざす戦略や市況急変に対する資産保全を目的とした日次のリスクモニタリングを組み合わせ、ポートフォリオを構築しました。

ベースラインポートフォリオでは、各資産のリスク寄与度が等しいリスクパリティポートフォリオの特徴から、リスク水準や他資産との相関が低い資産の組入比率が高く、リスク水準や他資産との相関が高い資産の組入比率が低くなる傾向があります。当期は幅広い資産に分散投資しましたが、相対的に日本国債の組入比率が高い状態で推移しました。また、目標リスク水準(年率4%)を勘案し、レバレッジ(ポジションの合計)は70%~100%程度、その内訳は安定資産が30%~75%程度、リスク性資産が25%~45%程度で推移しました。

追加的な収益の獲得をめざす戦略では、期を通じてファクター分析に基づく先進国株式および先進国国債内における国選択を実施したほか、当期初から2025年1月中旬には景気サイクルや投資家センチメント等が良好であると判断し、先進国株式の組入比率を引き上げ、先進国国債の組入比率を引き下げる調整を行いました。

日次のリスクモニタリングでは、2024年4月上旬から下旬、7月中旬から8月中旬、9月中旬などで株式等のリスク性資産の下落リスクが高まったと判断したほか、11月上旬から下旬などで先進国国債の下落リスクが高まったと判断し、資産保全のため対応資産の組入比率を機動的に引き下げました。

※日本国債と先進国国債を安定資産、それ以外の投資対象資産をリスク性資産といいます。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

当期の収益分配金につきましては商品性、基準価額水準、市況動向等を勘案し、以下のとおりとさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

〇分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項	目	第2期 2024年2月27日~
		2025年2月25日
当期分配金		_
(対基準価額比率)		-%
当期の収益		_
当期の収益以外		_
翌期繰越分配対象額	į	395

- (注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

〇今後の運用方針

【当ファンド (ベビーファンド)】

VTX ダイナミックバランス (安定成長型) マザーファンドの組入比率を原則として高位に保つ運用を行います。

【VTX ダイナミックバランス(安定成長型)マザーファンド】

主として日本株式、先進国株式、新興国株式、日本国債、先進国債券、新興国債券、国内REIT、先進国REIT を実質的な投資対象とする国際分散投資を行います。各資産のリスク寄与度が等しいリスクパリティポートフォリオから期待リターンを推定し、目標リスク水準における期待リターンが最大となるように構築したベースラインポートフォリオを起点に、独自の定量モデルを活用して追加的な収益の獲得をめざす戦略や市況急変に対する資産保全を目的とした日次のリスクモニタリングを組み合わせ、目標リスク水準を年率4%程度にコンロトールしながら信託財産の成長をめざす運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2024年2月27日~2025年2月25日)

項目	当 金 額	期比率	項 目 の 概 要
	一 円	%	
(a) 信 託 報 酬	86	0.823	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(37)	(0.355)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(46)	(0.434)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.015	(b)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(1)	(0.005)	
(先物・オプション)	(1)	(0.010)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税: 期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	4	0.034	(d) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(3)	(0.026)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.004)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	92	0.873	
期中の平均基準価額は、1	0, 498円です	0	

⁽注) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

⁽注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

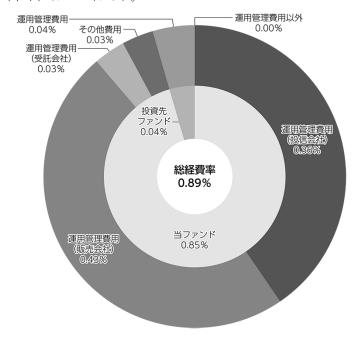
⁽注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

⁽注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに 小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は0.89%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	0.89
①当ファンドの費用の比率	0.85
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.04
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

- (注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注) 各比率は、年率換算した値です。
- (注) 投資先ファンドとは、当ファンドのマザーファンドが組み入れている投資信託証券です。
- (注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

〇売買及び取引の状況

(2024年2月27日~2025年2月25日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄		設	定		解	約	
型白	1173	口	数	金	額	数	金	額
			千口		千円	千口		千円
VTX ダイナミックバランス	(安定成長型) マザーファンド	3,	296, 787	3	, 517, 000	_		_

〇利害関係人との取引状況等

(2024年2月27日~2025年2月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年2月25日現在)

親投資信託残高

<i>kb</i>	扭	期首(前期末)	当 其	玥 末	
銘	柄	П	数	数	評(価 額
			千口	千口		千円
VTX ダイナミックバランス	(安定成長型) マザーファンド		2, 704, 967	6,001,755		6, 343, 855

○投資信託財産の構成

(2025年2月25日現在)

15			当	其	j	卡
項	Ħ	評	価	額	比	率
				千円		%
VTX ダイナミックバラン	ス(安定成長型)マザーファンド			6, 343, 855		99. 2
コール・ローン等、その他				51, 015		0.8
投資信託財産総額				6, 394, 870		100. 0

- (注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。
- (注) VTX ダイナミックバランス (安定成長型) マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (1,344,062千円) の投資信託財産総額 (7,908,454千円) に対する比率は17.0%です。
- (注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=150.23円、1カナダドル=105.26円、1ユーロ=157.19円、1イギリスポンド=189.59円、1オーストラリアドル=95.25円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年2月25日現在)

〇損益の状況

(2024年2月27日~2025年2月25日)

	項 目	当 期 末
		円
(A)	資産	6, 394, 870, 284
	コール・ローン等	51, 014, 507
	VTX ダイナミックバランス (安定成長型) マザーファンド(評価額)	6, 343, 855, 135
	未収利息	642
(B)	負債	20, 285, 307
	未払解約金	2, 605, 977
	未払信託報酬	17, 594, 965
	その他未払費用	84, 365
(C)	純資産総額(A-B)	6, 374, 584, 977
	元本	6, 131, 846, 504
	次期繰越損益金	242, 738, 473
(D)	受益権総口数	6, 131, 846, 504□
	1万口当たり基準価額(C/D)	10, 396円

(注)	期首元本額	2,744,366,137円
	期中追加設定元本額	3, 568, 679, 966円
	期中一部解約元本額	181, 199, 599円

(注) 1口当たり純資産額は1.0396円です。

_		NA HE
	項 目	当 期
		円
(A)	配当等収益	54, 424
	受取利息	54, 424
(B)	有価証券売買損益	△ 363, 006
	売買益	531, 934
	売買損	△ 894, 940
(C)	信託報酬等	△ 30, 147, 130
(D)	当期損益金(A+B+C)	△ 30, 455, 712
(E)	前期繰越損益金	90, 896, 685
(F)	追加信託差損益金	182, 297, 500
	(配当等相当額)	(121, 288, 671)
	(売買損益相当額)	(61,008,829)
(G)	計(D+E+F)	242, 738, 473
(H)	収益分配金	0
	次期繰越損益金(G+H)	242, 738, 473
	追加信託差損益金	182, 297, 500
	(配当等相当額)	(122, 744, 914)
	(売買損益相当額)	(59, 552, 586)
	分配準備積立金	96, 610, 207
	繰越損益金	△ 36, 169, 234

- *損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによる ものを含みます。
- *損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- *損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設 定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいい ます。

(注) 分配金の計算過程

項	目	2024年2月27日~ 2025年2月25日
a. 配当等収益(経費控除後)		5,713,522円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後·	繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金		146, 128, 266円
d. 信託約款に定める分配準備積立金		90, 896, 685円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)		242, 738, 473円
f. 分配対象収益(1万口当たり)		395円
g. 分配金		0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる 企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

〇分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

- (注) 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、分配金は全額普通分配金となります。
- (注)分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、 下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。
- (注) 分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合は、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。
- (注) 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

〇お知らせ

該当事項はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、 次ページ以降にご報告申しあげます。

VTX ダイナミックバランス(安定成長型)マザーファンド

運用報告書

第2期(決算日 2025年2月25日)(2024年2月27日~2025年2月25日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信	託	期	間	2023年3月1日から原則として無期限です。
運	用	方	針	主として日本株式、先進国株式、新興国株式、日本国債、先進国債券、新興国債券、国内REIT、 先進国REITに投資し、信託財産の成長を図ることを目的としております。
主星	要 投	資 対	象	日本を含む世界の株価指数先物取引に係る権利、日本を含む世界の国債先物取引に係る権利、 上場投資信託およびわが国の公社債
組	入	制	限	●株式への投資割合には制限を設けません。●外貨建資産への投資割合に制限を設けません。●デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

バーテックス・インベストメント・ソリューションズ株式会社

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と は一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

〇設定以来の運用実績

決	算	期	基	準	期騰	落	額中率	株先	物	比		債組	入	比	券率	債先	物	比	券率	投証組	資 入	信比	託券率	純総	資	産額
(設定	闰)			円			%				%				%				%				%		百	万円
20)23年3月	1 目		10,000			_				_				_				_				_		2,	487
1期((2024年 2 月	月26日)		10, 449			4.5			20). 4			33	3.6			26	6.0			18	3. 0		2,	826
2期((2025年 2 月	月25日)		10, 570			1.2			13	3. 4			32	2.3			60). 4			22	2. 9		6,	343

- (注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
- (注) 株式先物比率は買建比率-売建比率。
- (注)債券先物比率は買建比率-売建比率。
- (注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

〇当期中の基準価額と市況等の推移

F	п	п	基	準	価		額	株			式	債			券	債			券	投証	資	信	託
年	月	日			騰	落	率	先	物	比	率	組	入	比	券率	先	物	比	券率	組組	入	比	券率
	(期 首)			円			%				%				%				%				%
20	024年2月26日			10, 449			_			20	0.4			3	3.6			26	6.0			18	3. 0
	2月末			10, 438			△0.1			2	1.3			3	3.6			29	9.0			21	1.3
	3月末			10, 580			1.3			20	0.8			3	2.8			30	0.5			20	0.0
	4月末			10, 526			0.7			1	7. 7			3	5. 7			32	2.4			22	2. 9
	5月末			10, 525			0.7			18	3.8			3	5.0			36	6.9			24	1.1
	6月末			10,677			2.2			20	0.9			3	3.9			36	6.9			24	1.4
	7月末			10,640			1.8			1	1.1			3	3. 3			42	2. 1			13	3. 9
	8月末			10,685			2.3			1:	5. 7			3	2. 3			63	3.3			16	6.0
	9月末			10,744			2.8			1:	5. 7			3	5.6			69	9.5			17	7.4
	10月末			10, 731			2.7			10	3.8			3	4.6			57	7. 7			19	9. 2
	11月末			10,683			2.2			1	7. 3			2	9.3			57	7. 7			19	9. 1
	12月末			10,672			2.1			30	0.6			3	6.7			104	4. 2			33	3.6
2	2025年1月末			10,651			1.9			1:	3. 7			3	6.3			60	0.1			23	3.3
	(期 末)																						
20	025年2月25日			10,570			1.2			13	3. 4			3	2. 3			60	0.4			22	2. 9

- (注)騰落率は期首比です。
- (注) 株式先物比率は買建比率-売建比率。
- (注) 債券先物比率は買建比率-売建比率。

(2024年2月27日~2025年2月25日)

基準価額の推移



○基準価額の主な変動要因

主として日本国債や先進国国債がマイナスに寄与した一方、先進国株式や米国物価連動国債がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

投資環境

【株式市場】

世界の株式市場は日本、先進国、新興国いずれも上昇しました。

2024年8月上旬には米国の景気後退懸念等を受けて大きく下落したほか、その他にも米国のインフレや政策金利が高止まりするとの懸念、地政学リスクの高まり等から下落する局面もありましたが、期を通じてみれば良好な企業業績等を背景に上昇しました。特に先進国株式はマグニフィセント・セブンと呼ばれる米国の大型テクノロジー企業7社が牽引する形で大きく上昇しました。また、8月上旬の世界的な株式下落時において、日本株式は8月5日に12%以上の歴史的な急落となりましたが、翌日には急反発し、その後も値動きの大きい展開が続きました。

【債券市場】

世界の国債市場は日本、先進国ともに下落しました。

日本では2024年8月上旬の日本株式の歴史的な急落時にリスク回避の動き等から金利が大きく低下(価格は上昇)する局面もありましたが、期中の多くは日銀によるマイナス金利解除を含む3度の利上げや国債買入の減額等を背景に金利は上昇(価格は下落)基調で推移しました。また、先進国では2024年6月から9月にかけて経済やインフレに関連したデータの減速を受けて主要国で利下げが開始されたほか、特に8月上旬や9月上旬には米国の景気後退懸念も高まったことから金利が大きく低下する局面もありましたが、期を通じてみれば堅調さを維持する米国経済に加え、11月に米国大統領選挙に勝利したトランプ氏が掲げる経済・関税政

策によりインフレや政策金利が高止まりするとの懸念等を背景に金利は上昇しました。

米国の物価連動国債市場、米国の投資適格社債市場、新興国の米ドル建て債券市場(いずれも米ドルベース) は上昇しました。

米国金利の上昇がマイナスに寄与した一方、高水準の米国金利を背景としたインカム収益がプラスに寄与したほか、期待インフレ率の上昇やクレジットスプレッドの縮小もプラスに寄与し、3 資産いずれも上昇しました。

【REIT市場】

国内のREIT市場は上昇しました。

日本金利の上昇や日銀の金融政策修正に対する警戒感等を背景に上値が重い展開が続きましたが、2024年 12月中旬の日銀金融政策決定会合以降は過度な利上げに対する警戒感が後退し業績対比での割安感が意識されたほか、海外投資ファンドによる公開買い付け実施が公表された銘柄の存在も好感され、期を通じても上昇しました。

米国のREIT市場(米ドルベース)は上昇しました。

2024年6月から9月にかけて米国金利が大きく低下した局面では大きく上昇した一方、その後の米国金利が上昇に転じた局面では上値が重い展開が続き、特に12月には大きく下落しましたが、期を通じてみれば堅調さを維持する米国経済等を背景に上昇しました。

【米ドル・円為替市場】

米ドル・円為替市場は小幅に米ドル安・円高となりました。

当期初から2024年7月中旬にかけて大きく米ドル高・円安となった後、9月中旬にかけて大きく米ドル安・円高が進行し、当期末にかけて再度大きく米ドル高・円安が進む値動きの大きい展開となりました。期中の動きは概ね日米金利差の変化に連動していましたが、米国トランプ大統領が掲げる経済・関税政策、NISAを通じた海外資産への投資やデジタル関連サービスに対する海外への支払いなどの円売り圧力の拡大等が意識され、期を通じてみれば日米金利差が縮小する中でも小幅な米ドル安・円高にとどまりました。

ポートフォリオ

主として日本株式、先進国株式、新興国株式、日本国債、先進国債券、新興国債券、国内REIT、先進国REIT を実質的な投資対象とする国際分散投資を行いました。各資産のリスク寄与度が等しいリスクパリティポートフォリオから期待リターンを推定し、目標リスク水準における期待リターンが最大となるように構築したベースラインポートフォリオを起点に、独自の定量モデルを活用して追加的な収益の獲得をめざす戦略や市況急変に対する資産保全を目的とした日次のリスクモニタリングを組み合わせ、ポートフォリオを構築しました。

ベースラインポートフォリオでは、各資産のリスク寄与度が等しいリスクパリティポートフォリオの特徴から、リスク水準や他資産との相関が低い資産の組入比率が高く、リスク水準や他資産との相関が高い資産の組入比率が低くなる傾向があります。当期は幅広い資産に分散投資しましたが、相対的に日本国債の組入比率が高い状態で推移しました。また、目標リスク水準(年率4%)を勘案し、レバレッジ(ポジションの合計)は70%~100%程度、その内訳は安定資産が30%~75%程度、リスク性資産が25%~45%程度で推移しました。

追加的な収益の獲得をめざす戦略では、期を通じてファクター分析に基づく先進国株式および先進国国債内における国選択を実施したほか、当期初から2025年1月中旬には景気サイクルや投資家センチメント等が良好

であると判断し、先進国株式の組入比率を引き上げ、先進国国債の組入比率を引き下げる調整を行いました。 日次のリスクモニタリングでは、2024年4月上旬から下旬、7月中旬から8月中旬、9月中旬などで株式等のリスク性資産の下落リスクが高まったと判断したほか、11月上旬から下旬などで先進国国債の下落リスクが高まったと判断し、資産保全のため対応資産の組入比率を機動的に引き下げました。 ※日本国債と先進国国債を安定資産、それ以外の投資対象資産をリスク性資産といいます。

〇今後の運用方針

主として日本株式、先進国株式、新興国株式、日本国債、先進国債券、新興国債券、国内REIT、先進国REIT を実質的な投資対象とする国際分散投資を行います。各資産のリスク寄与度が等しいリスクパリティポートフォリオから期待リターンを推定し、目標リスク水準における期待リターンが最大となるように構築したベースラインポートフォリオを起点に、独自の定量モデルを活用して追加的な収益の獲得をめざす戦略や市況急変に対する資産保全を目的とした日次のリスクモニタリングを組み合わせ、目標リスク水準を年率4%程度にコンロトールしながら信託財産の成長をめざす運用を行います。

〇1万口当たりの費用明細

(2024年2月27日~2025年2月25日)

項	B	金	額	期比	率	項 目 の 概 要
		312.	円	20	%	
(a) 売 買 委	託 手 数 料		2	0.0	015	(a)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信	託 証 券)		(1)	(0.0	005)	
(先物・オ	トプション)		(1)	(0.0)10)	
(b) 有 価 証	券 取 引 税		0	0.0	001	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税=期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信	: 託 証 券)		(0)	(0.0	001)	
(c) そ の	他 費 用		3	0.0	030	(c)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管	費 用)		(3)	(0.0)26)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(そ	の 他)		(0)	(0.0	004)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合	計		5	0.0	046	
期中の平均	匀基準価額は、1	.0, 629F	りです	0		

⁽注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

⁽注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに 小数第3位未満は四捨五入してあります。

〇売買及び取引の状況

(2024年2月27日~2025年2月25日)

公社債

		買	付	額	売	付	額	
玉				千円				千円
	国債証券			2, 998, 805				_
内							(1, 90	00,000)

- (注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)
- (注)()内は償還等による増減分です。

投資信託証券

		ぬ 扭		買	付	•		売	付	
		銘柄	口	数	金	額	П	数	金	額
玉				П		千円		П		千円
内	i S	ンェアーズ・コア Jリート ETF		152, 800		266, 961		95, 400		166, 874
	アン	メリカ				千米ドル			11	千米ドル
外		ISHARES TIPS BOND ETF		46, 936		5,034		34, 983		3, 757
/ /		ISHARES IBOXX INVESTMENT GRA		43, 090		4,658		23, 898		2, 588
l		ISHARES JP MORGAN USD EMERGI		37, 575		3, 381		23, 594		2, 131
国		VANGUARD REAL ESTATE ETF		25, 853		2,318		16, 143		1, 442
		小計		153, 454		15, 392		98, 618		9,920

⁽注) 金額は受け渡し代金。

先物取引の種類別取引状況

	種 類 別		BII	買	建	売	建
	性	頖	万1	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
玉				百万円	百万円	百万円	百万円
	株式先物取引			1, 113	950	_	_
内	債券先物取引			7,638	5, 155	_	_
外	株式先物取引			3, 520	3, 453	l	_
玉	債券先物取引			3, 823	3, 110	Ī	_

- (注) 金額は受け渡し代金。
- (注) 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

〇利害関係人との取引状況等

(2024年2月27日~2025年2月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年2月25日現在)

国内公社债

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

						当				期	末		
区	分	額面	金 額	評 佃	i 額	組	入	比率	₩	うちBB格以下	残	字期間別組入	比率
		領 田	並 領	<u></u> тт 1Ш	1 (銀	形丛	Л	µ∟ ≏	 	組入比率	5年以上	2年以上	2年未満
			千円		千円			9	ó	%	%	%	%
国債証券		2, 0	50,000	2, 04	19, 136			32.	3	_	_	_	32.3
国頂証分		(2, 0	50,000)	(2, 04	19, 136)			(32.	3)	(-)	(—) (-)	(32.3)
_	計	2, 0	50,000	2, 04	19, 136			32.	3	_	_	_	32. 3
合	Τħ	(2, 0	50,000)	(2, 04	19, 136)			(32.	3)	(-)	(—	(-)	(32.3)

- (注)()内は非上場債で内書きです。
- (注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
- (注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

D.tr	444		当	非	
銘	柄	利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日
国債証券		%	千円	千円	
第1220回国庫短期証券		_	400,000	399, 919	2025/3/21
第1277回国庫短期証券		_	750, 000	749, 782	2025/3/31
第1280回国庫短期証券		_	150,000	149, 940	2025/4/14
第1287回国庫短期証券		_	750, 000	749, 494	2025/5/19
合	計		2,050,000	2, 049, 136	

国内投資信託証券

銘	柄	期首(前期末)		当 期 末	
平 白	ניוו	口 数	口 数	評価額	比 率
		П	П	千円	%
iシェアーズ・コア	リート ETF	46, 700	104, 100	180, 821	2.9
合 計	口数・金額	46, 700	104, 100	180, 821	
合 計	銘 柄 数<比 率>	1	1	<2.9%>	

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

外国投資信託証券

		期首(前期末)		当	朝 末					
銘	柄	口数	口数	評	面 額	比 率				
		口 数	口 数	口 奴	口 数	口 数	日 奴	外貨建金額	邦貨換算金額	比 奔
(アメリカ)			П	千米ドル	千円	%				
ISHARES TIPS BOND	ETF	13, 578	25, 531	2, 786	418, 685	6. 6				
ISHARES IBOXX INV	ESTMENT GRA	4, 397	23, 589	2, 560	384, 605	6. 1				
ISHARES JP MORGAN	USD EMERGI	5, 379	19, 360	1, 760	264, 407	4. 2				
VANGUARD REAL EST	ATE ETF	5, 201	14, 911	1, 371	206, 087	3. 2				
合 計一	口 数・金 額	28, 555	83, 391	8, 478	1, 273, 786					
百 訂	路 柄 数 < 比 率 >	4	4	_	<20.1%>					

- (注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
- (注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

先物取引の銘柄別期末残高

	D.b.	1 35			当	Į.	玥	末	
	銘	柄	別	買	建	額	売	建	額
						百万円			百万円
国	株式先物取引		TOPIX			327			_
内	債券先物取引		10年国債標準物			2, 793			_
			海外市場JGB(SGX)min			167			_
	株式先物取引		SP500MIN2503			225			_
			MSCIEMG 2503			185			-
外			EUROSTX 2503			94			-
21			FTSE100 2503			16			_
	債券先物取引		CAN10YR 2503			169			_
一一			LONG GIL2503			87			_
国			EB 10YR 2503			166			_
			10TNOTE 2503			181			_
			AUST10YR2503			267			_

⁽注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

〇投資信託財産の構成

(2025年2月25日現在)

項	В		当	į	朝	末
	目	評	価	額	比	率
				千円		%
公社債				2, 049, 136		25. 9
投資信託受益証券				1, 454, 608		18. 4
コール・ローン等、その他				4, 404, 710		55. 7
投資信託財産総額				7, 908, 454		100.0

- (注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。
- (注) 当期末における外貨建純資産(1,344,062千円)の投資信託財産総額(7,908,454千円)に対する比率は17.0%です。
- (注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=150.23円、1カナダドル=105.26円、1ユーロ=157.19円、1イギリスポンド=189.59円、1オーストラリアドル=95.25円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年2月25日現在)

〇損益の状況

(2024年2月27日~2025年2月25日)

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	\/\ ## +-
	項 目	当期末
		円
(A)	資産	8, 020, 631, 034
	コール・ローン等	4, 171, 288, 329
	公社債(評価額)	2, 049, 136, 200
	投資信託受益証券(評価額)	1, 454, 608, 008
	未収入金	132, 950, 903
	未収配当金	2, 290, 200
	未収利息	52, 170
	差入委託証拠金	210, 305, 224
(B)	負債	1, 676, 821, 618
	未払金	1, 676, 821, 618
(C)	純資産総額(A-B)	6, 343, 809, 416
	元本	6, 001, 755, 095
	次期繰越損益金	342, 054, 321
(D)	受益権総口数	6, 001, 755, 095□
	1万口当たり基準価額(C/D)	10, 570円
(20.1	Ha ≥4. → 1. #a*	

(注)期首元本額	2,704,967,657円
	期中追加設定元本額	3, 296, 787, 438円
	期中一部解約元本額	0円

- (注) 2025年2月25日現在の元本の内訳は以下の通りです。
 - ・VTX DCダイナミックバランスファンド (安定成長型) 6,001,755,095円
- (注) 1口当たり純資産額は1.0570円です。

	項目	当 期
		円
(A)	配当等収益	35, 524, 622
	受取配当金	25, 946, 281
	受取利息	4, 580, 353
	その他収益金	4, 997, 988
(B)	有価証券売買損益	△ 4, 659, 327
	売買益	86, 101, 300
	売買損	△ 90, 760, 627
(C)	先物取引等取引損益	△ 29, 394, 819
	取引益	122, 699, 635
	取引損	△152, 094, 454
(D)	保管費用等	△ 1, 025, 545
(E)	当期損益金(A+B+C+D)	444, 931
(F)	前期繰越損益金	121, 396, 828
(G)	追加信託差損益金	220, 212, 562
(H)	計(E+F+G)	342, 054, 321
	次期繰越損益金(H)	342, 054, 321

- *損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引 損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- *損益の状況の中で(G) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる 企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

〇お知らせ

該当事項はございません。